

# 平成 27 年度 高岡市下水道事業報告書

## 総括事項

平成27年度は、高岡市総合計画第2次基本計画に掲げる各施策を推進するとともに公営企業としての独自性を高め、より一層の効率的な事業運営と経営の健全性に努めるとともに、市民サービスの向上と危機管理体制の強化に取り組みました。

下水道施設整備においては、生活環境の改善、公共用水域の水質保全、浸水の防除を目的に公共下水道及び特定環境保全公共下水道の整備を進め未普及地域の解消を図るなか、高岡市緊急浸水対策行動計画に基づき住吉ポンプ場増設工事を実施したほか、雨水幹線整備など浸水対策にも鋭意取り組みました。また、基幹施設整備として四屋浄化センターや伏木浄化センターの汚水ポンプ施設の更新事業を実施しました。

### <普及状況>

本年度末における処理区域面積は 4,320.57haで前年度に比べ 34.89ha増加し、処理区域内人口は 162,833人で前年度に比べ 23人減少し、普及率は93.3%となりました。

### <財政状況>

本年度の収益的収支については、事業収益 5,808,913,530円、事業費用 5,596,979,645円で収支差引 211,933,885円の当年度純利益を計上しました。

資本的収支においては、資本的収入額 4,249,861,766円、資本的支出額 6,351,664,381円で不足する額 2,101,802,615円は、過年度分損益勘定留保資金 290,042,249円、当年度分損益勘定留保資金 1,646,095,754円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 103,464,612円で補てんしました。なお、不足する額については、当年度同意済企業債の未発行分 62,200,000円をもって翌年度に措置します。